

(学年) 第3学年, (教科・科目) 地理歴史・日本史 B

一斉学習

(単元) 摂関政治と文化の和様化

(本時のねらい)

平安時代の政治・文化・土地制度を理解させる。平安時代は荘園制や武士の台頭という中世の萌芽がみられ様々な視点から、平安時代が古代から中世への移行期であることを捉えさせたい。

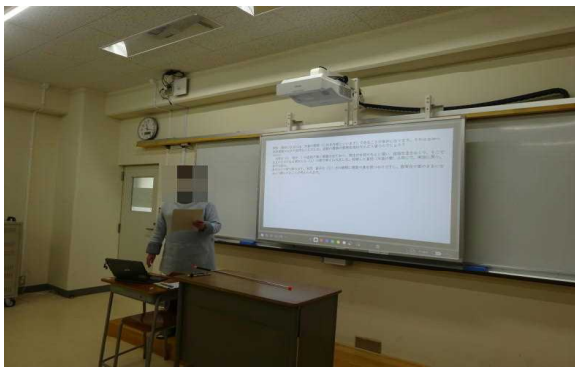
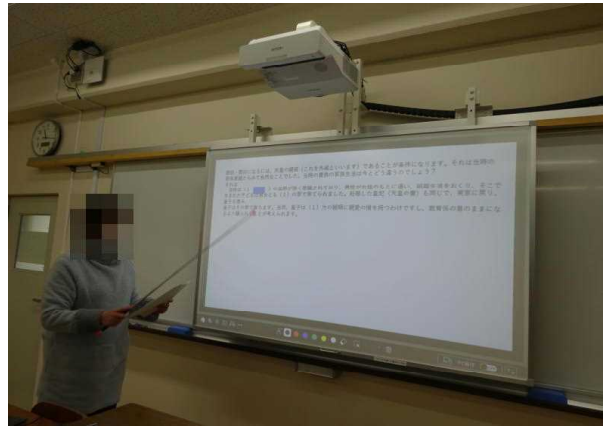
(ICT活用方法)

教科書で指示された家系図は正確であるが、人名がすべて表記されていて煩雑であり、こちらの指示する人名を見つけられるのに生徒によって時間差がある。そこで、より簡潔に必要な人物に絞って、その血縁関係を掌握させるため、プレゼンテーションソフトを用いて、家系図を掲示し、生徒の理解を深める。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・平安時代では現代の政治体制と異なる体制であったことを理解する。	・摂関政治とはどのような政治体制かを説明する。	
展開 10分	・姻戚関係を理解する。	・関係する人物について説明する。	・電子黒板にプレゼンテーションソフトで作成した家系図を投影し、当時の藤原家と天皇家の複雑な姻戚関係を理解させる。
まとめ 5分	・姻戚関係で尊属に逆らえない心情を理解する。	・位や役職による階級社会について説明する。 ・人間関係は計算づくでないことにも触れる。	

(授業の様子)



(生徒の反応と課題)

言葉だけの説明より視覚に訴えての説明の方が生徒の理解が早かったと思われる。

今後は準備にかなりの時間が割かれるかとは思われるが、より多くの画像を準備してスクリーニングがスムーズに進むようにしたい。